



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会

各地区安全運転管理協会の活動紹介

「年末の交通安全県民運動」期間中の各地区活動紹介！

三島地区、浜松中央地区、浜北地区、伊東地区、磐田地区、細江地区の安全運転管理協会では、昨年の「年末の交通安全県民運動」期間中、地区協会独自、または管轄警察署や関係団体と合同で、「会員事業所の活動取組み」「自転車ヘルメット着用義務化の広報活動」「飲酒運転根絶キャンペーン」「夕暮れ時の交通事故防止活動」「めざそう交通事故ゼロのまちキャンペーン」「サポカーによる安全運転研修会」など、活発な交通安全活動を行いましたので、その様子を紹介します。

三島地区 ～会員事業所の活動取組み

実施日時	12月15日(木)～ 安全運動期間中
実施者	三島地区安全運転管理協会の会員事業所（今回紹介は5事業所） 「静岡コンサルタント(株)」 「静甲(株)三島工場」 「介護老人保健施設ラ・サンテふよう」 「(株)エイエイピー」 「(株)三静工業」
活動内容	三島地区の会員事業所では、従業員に対する安全運転指導を目的に、毎朝の通勤時において、アルコールチェック、シートベルト着用確認、運転免許証の確認等を実施するなど、交通事故防止に努めています。 また、これらの事業所活動を取りまとめ、「交通安全運動活動集」として冊子を製作し、安全運転管理者法定講習等の機会に配布しています。



【アルコールチェック（ラ・サンテふよう）】



【シートベルト確認（静甲(株)三島工場）】



【運転免許証確認（株)三静工業）】



【交通安全運動活動集】

浜松中央地区

～自転車ヘルメット着用義務化の広報

実施日時	12月16日（金） 15:00～ 15:30
実施場所	浜松市北区初生町 遠州鉄道㈱三方原営業所 駐車場
実施者	浜松中央警察署、安協浜松中央地区支部長他、浜松中央地区安管協会の藤井会長と事務局員、遠州鉄道㈱運輸事業部（6人） 合計14人
活動内容	今年4月に施行される「自転車ヘルメット着用義務化」の周知活動として、同地区安管協会と安協で製作した「 自転車乗るならヘルメット 」の広報幕を遠州鉄道路線バス5台の前面に設置し、バスを広告媒体として今年6月まで広報活動に協力していただきます。



【遠州鉄道㈱の広報幕設置協力式】



【自転車乗るならヘルメットの広報幕】

浜北地区

～飲酒運転根絶キャンペーン

実施日時	12月16日（金） 17:00～ 17:30
実施場所	浜松市浜北区中条 ヤマハ発動機㈱浜北工場 事業所内
実施者	浜北警察署、浜北区役所、安協浜北地区支部交通安全指導員、浜北地区安全運転管理協会から事務局長と上記事業所安全運転管理者合計8人
活動内容	事業所従業員の帰宅時間に合わせ、車両通勤者を中心に約120人に対して、「飲酒運転根絶」のぼり旗の掲出や交通安全啓発品を配付しながら、飲酒運転根絶と交通事故防止を呼び掛けました。



【交通安全啓発品を配付しながら飲酒運転根絶を呼び掛け】

伊東地区 ～夕暮れ時の交通事故防止活動

実施日時	12月21日（水） 15:30～ 16:30
実施場所	伊東市猪戸地先、松川町地先の信号交差点 2か所
実施者	伊東警察署、伊東市役所、伊東市交通安全母の会、安協伊東地区支部、伊東地区安全運転管理協会から事務局長が参加 合計15人
実施内容	夕暮れ時と夜間の交通事故防止を目的として、上記2か所の交差点において、交通安全啓発品を配付しながら、車両運転者に対する「早めのライトオン」、横断歩行者に対する「反射材着用の徹底」等と呼び掛ける街頭広報活動を行いました。



【啓発品を交付して街頭広報活動】



【街頭広報活動に参加した皆さん】

磐田地区 ～めざそう交通事故ゼロのまちキャンペーン

実施日時	12月22日（木） 10:00～ 15:00
実施場所	磐田市今之浦地先 アピタ磐田店内
実施者	磐田警察署、磐田市役所、安協磐田地区支部交通安全指導員とともに磐田地区安管協会から事務局長、会員の2事業所が参加 合計17人
実施内容	「めざそう交通事故ゼロのまち」キャンペーンの一環として、店舗内にクイックキャッチやグレアボックス（夜間の反射材効果確認など）の交通安全機器を活用した「体験型交通教室」を設置し、来場者約300人に対して、「めざせ交通事故“ゼロ”」と呼び掛けました。



【クイックキャッチを体験している様子】
（磐田市のゆるキャラ「しっぺい」）



【グレアボックスを体験する様子】

細江地区

～サポカーによる安全運転研修会

実施日時	12月22日(木) 13:30～16:00
実施場所	浜松市北区細江町 交通教育センター レインボー浜名湖
実施者	浜松市北区交通事故防止対策協議会の主催により、細江警察署、浜松市北区役所、安協細江地区支部の交通安全指導員とともに、細江地区安管協会から影山会長等役員、事務局長等4人が参加、合計10人
参加者	上記の協議会関係団体の呼び掛けで、60歳以上の方15人が参加
実施内容	細江警察署交通課員及び交通安全指導員により、交通事故発生状況と夜間の交通事故防止対策として反射材の効果実験を行ったほか、 <ul style="list-style-type: none">・サポカーを使用した「衝突軽減ブレーキと誤発進抑制機能体験」・「走行車両速度による道路横断実験」と「夜間の視認性体験」 等を実施したもので、参加者から「道路横断に時間がかかる体験ができた。今後の運転や行動に気をつけたい」等の感想が聞かれました。



【細江署交通課員の交通安全講話】



【交通安全指導員の反射材効果実験】



【サポカーによる衝突軽減ブレーキ実験】



【車両速度による道路横断実験】

～安全を つなげて広げて 事故ゼロへ～